

令和3年度草津市水道事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、平成22年度に策定し、平成27年度に中間見直しを行いました草津市水道ビジョンに基づき、「安全で良質な水道水を安定的に供給する」という基本使命を果たしていくとともに、本市の水道事業が直面している施設や管路の老朽化と将来的な水需要の減少見通しなどの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めてまいりました。

本年度は、災害などの非常時にも安定して水を供給できるよう、施設面では、北山田浄水場配水施設の耐震工事およびロクハ浄水場関連施設の浸水対策工事を実施し、管路面では、管路の更新工事にあわせて、耐震化を進めました。

組織体制面では、熟練者から若年者への内部研修の実施や各種外部研修への参加などにより、技術継承を図りました。

経営面では、草津市水道事業経営計画に基づき、平成23年10月1日から令和4年3月31日までの間、水道料金の10%還元を実施してまいりましたが、令和4年度からの第2次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕を策定し、財政的な見通しが立ったことから、引き続き、令和10年3月31日まで延長しました。

今後も施設更新需要の増加や節水型社会の進行などを踏まえ、より一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組み、水道水の安全性とおいしさのPRを行うなど利用促進に努めてまいります。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,621万 m^3 で前年度比2.2%減、有収水量については約1,588万 m^3 で前年度比0.0%、有収率は前年度より2.1ポイント増加して97.9%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持しており、引き続き、主要配水管を対象とした漏水調査や、計画的な老朽管更新を進めてまいります。

収益的収支の状況については、収益額が24億3,927万2,515円、費用額が21億6,046万7,652円で、差引2億7,880万4,863円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、減債積立金に1億3,940万円を積み立て、1億3,940万4,863円を建設改良積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額2億8,040万2,468円に対し、支出額は15億3,761万2,433円となり、差引12億5,720万9,965円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,471万1,411円、減債積立金1億564万円、建設改良積立金3億878万4,888円ならびに損益勘定留保資金7億5,807万3,666円で補てんしました。

また、宮町渋川線配水管移設実施設計業務については、地方公営企業法第26条第1項の規定により601万8千円を令和4年度に繰り越しました。

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	増減比率	
給水件数	35,806件	35,468件	338件	1.0%	
配水量	総量	16,208,545 m^3	16,570,987 m^3	Δ 362,442 m^3	Δ 2.2%
	一日最大	47,895 m^3	49,301 m^3	Δ 1,406 m^3	Δ 2.9%
	一日平均	44,407 m^3	45,400 m^3	Δ 993 m^3	Δ 2.2%
有収水量	15,876,248 m^3	15,868,872 m^3	7,376 m^3	0.0%	
有収率	97.9%	95.8%	2.1%	—	